

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

三重県の僻地における認知症支援体制構築に関する研究

研究分担者 新堂晃大 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学

研究要旨

三重県の医師不足地域では認知症専門医受診のハードルが高く、受診そのものの必要性判断が困難なことがある。2014年度より三重県では認知症疑い患者の相談として、三重県医師会と共同でITスクリーニングを行い、僻地を中心に遠隔でのスクリーニングを開始した。2023年度は、地域における認知症専門人材の現状を評価している。三重県の医師不足地域における認知症のITスクリーニングでは地域の医療機関と連携し7名のスクリーニングを実施した。さらに、離島での認知症に関する勉強会を実施した。また医師不足地域における、認知症予防に対する取り組みについて現地調査を行っている。

A. 研究目的

三重県の医師不足地域では認知症専門医受診のハードルが高く、受診そのものの必要性判断が困難なことがある。2014年度より三重県では認知症疑い患者の相談として、三重県医師会と共同でITスクリーニングを行い、僻地を中心に遠隔でのスクリーニングを行っている。さらに地域における認知症診療のニーズを把握するため、地域での勉強会、さらに実地調査を行うこととした。

B. 研究方法

三重県における医師不足地域において、ITスクリーニングを実施した。また東紀州地域の紀南病院、伊勢志摩地区の鳥羽市立神島診療所および南伊勢町大方竈生活改善センターを訪問し、認知症診療、認知症

予防などのニーズや問題点に関する聞き取り調査を行った。また神島診療所では他の離島とZOOM接続し症例検討を行った。

（倫理面への配慮）

三重大学医学系倫理審査委員会の承認を得て実施し（承認番号H2019-114）、さらに個人情報の保護には細心の注意を払った。

C. 研究結果

三重県の医師不足地域における認知症のITスクリーニングでは地域の医療機関と連携しスクリーニングを実施した。三重県東紀州地区は紀南病院と、そして伊賀上野地区は上野病院、名張市立病院と連携している。令和5年度は紀南病院4例、上野病院2例、名張市立病院8例で合計14例実施し、うち5例が専門医療機関の受診を推奨、9例が経過観察と報告している。

また、三重県鳥羽市神島において認知症に関する勉強会を実施し、さらに離島間を ZOOM 接続した症例検討の実施をしている。また医師不足地域における認知症診療そして予防に対する取り組みについて 8 月は紀南病院、10 月は鳥羽市立 神島診療所、12 月には南伊勢町大方竈生活改善センターで介護予防教室の現地調査を行っている。これらの現地調査から、遠隔地における認知症予防プログラムの相談があった。また医師不足地域でパーキンソン病に対し深部刺激療法 (DBS) を実施した患者が高齢になり認知症を伴った症例に関する治療の相談を行った。

D. 考察

医師不足地域では専門医そのものの不足のほか、受診におけるアクセスの問題、さらには認知症予防教室のような一般高齢者がアクセスしやすい活動など様々なニーズがあることが判明した。さらに近年様々な治療がパーキンソン病に対して行われるようになったが、深部刺激療法 DBS を行っ
てから高齢化した症例では特に認知機能低下のみならず ADL 低下もあるため専門医受診が困難になっていることも判明した。

専門医受診につなげるにあたり、三重県では以前から遠隔 IT スクリーニングを行っており、これを引き続き実施していく必要がある。さらに認知症予防教室に関しては内容の工夫などもされているが、よりエビデンスのあるものを求められていたため三重大学で実施しているプログラムの普及も重要と考えた。

E. 結論と今後の課題

今回明らかになった課題に対して、IT スクリーニング事業は引き続き実施し、さらには予防教室の普及、DBS 後患者の遠隔診療などを実施していくことが課題として挙げられる。

F. 研究発表

1. 論文発表
該当なし
2. 学会発表
該当なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

新堂晃大、及川伸二、富本秀和. 対象が脳アミロイド血管症を有するかを判定するための方法、組成物およびキット、特願 2023-146818 三重大学 出願年月日令和 5 年 9 月 11 日

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし